

当研究事業における
臨床指標の分析・公表の目的・重要点
(ホームページに掲載)

- * 臨床指標は、医療の質の保証・改善に役立たせるためのものです。
- * 臨床指標は、病院を格付け・順位付けするものでは決してありません。格付け・順位付けに使うのは誤りです。
- * 各指標には限界があり、医療には指標化できない、多くの重要な側面があります。
- * 当プロジェクトは、自ら医療内容の透明化を進め医療をよくしていこうという志高い病院の参加により実現しています。
- * 当プロジェクトの臨床指標は、第三者による客観的データの分析により、指標化されています。

21

病院にとっての公表の意義・目的
(研究班の想定)

- 参加病院医療者が(データを真剣に見て)自院の位置づけを知り、診療改善の動機となる。
- 各参加病院は、診療改善に積極的な病院(質保証に自信ある病院)として社会に認知される。
- 将来の制度化された公表に向けての「準備段階」として、準備・改善に取り組める。
- 他の一般の病院にも模範を示し、日本の医療全体に貢献しうる。

22

臨床指標の公表に関する論点整理 例

	長所	短所
医療消費者・患者	<ul style="list-style-type: none"> ・指標を比較することで、より質の高い医療を提供する病院の診療を選択できる。 ・情報を利用することが病院の質改善への取り組みを促進させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも公表された臨床指標が患者の目を引くとは限らない。 ・また目に入ったとしてもそれらを理解し、信頼し、得た情報を病院の選択に用いることは少ない。 ・利用される際に一部が過度に強調されて視野が狭くなることがある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の利用度は、若い人、高等教育を受けた人で高い。 	

医療者	<ul style="list-style-type: none"> ・診療を見直し、改めるきっかけになる。 ・より質の高い医療を行う職場を選択できる。 ・レポートに対するネガティブな姿勢は時間と共に緩和される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者よりも臨床指標の公表に対して慎重であり、利用を最小限に留めようとする。 ・また逆に公表された臨床指標を疑い、信頼性を否定することもある。 ・専門職の独立性・自律性に公的な介入をするという意味をもつ。 ・真の重要性とは別に指標化された領域を重要視してしまう。
-----	---	---

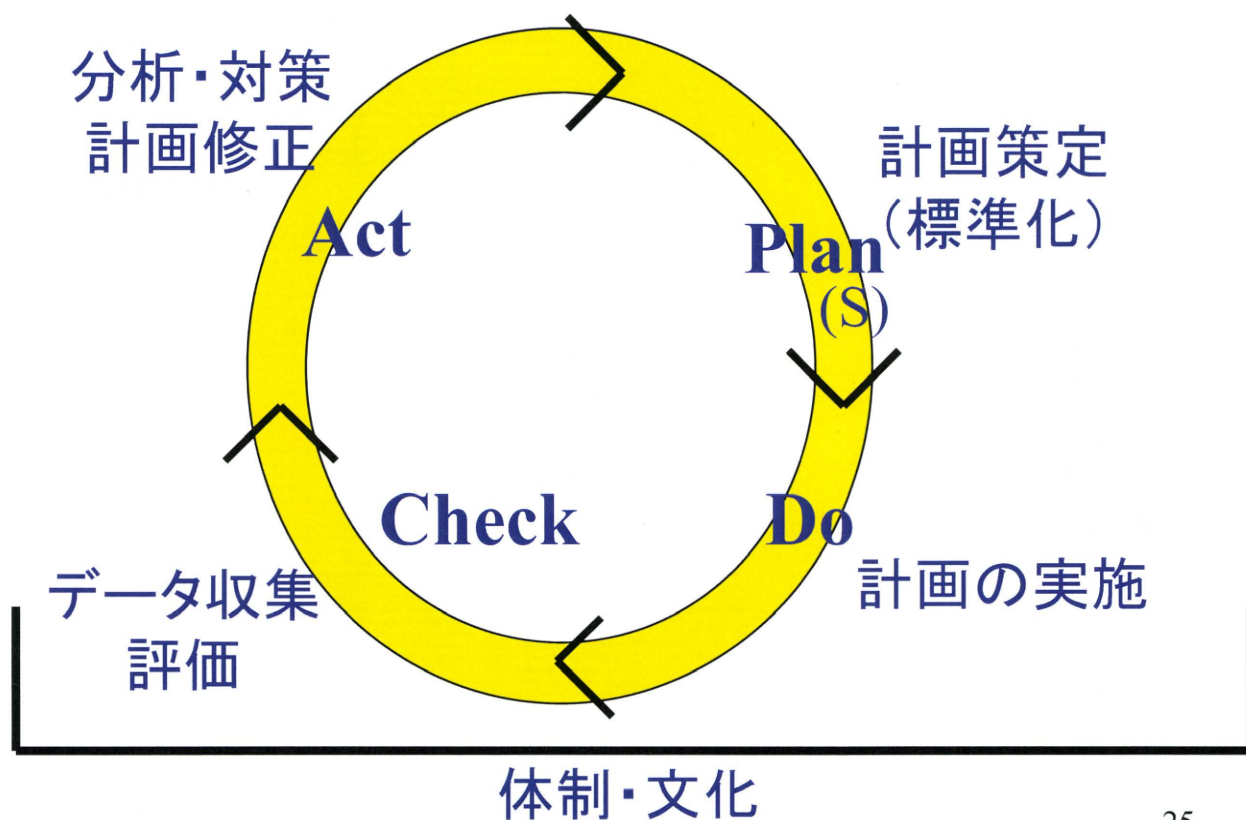
23

参考文献

- Marshall MN, Shekelle PG, Leatherman S, Brook RH. The public release of performance data: what do we expect to gain? A review of the evidence. *JAMA*. 2000 Apr 12;283(14):1866-74.
- Marshall MN, Hiscock J, Sibbald B Attitudes to the public release of comparative information on the quality of general practice care: qualitative study. *BMJ*. 2002 Nov 30;325(7375):1278.
- Marshall MN, Shekelle PG, Davies HT, Smith PC Public reporting on quality in the United States and the United Kingdom. *Health Aff (Millwood)*. 2003 May-Jun;22(3):134-48.
- Robinowitz DL, Dudley RA Public reporting of provider performance: can its impact be made greater? *Annu Rev Public Health*. 2006;27:517-36.
- Epstein AJ. Do cardiac surgery report cards reduce mortality? Assessing the evidence. *Med Care Res Rev*. 2006 Aug;63(4):403-26.
- Tu JV, Donovan LR, Lee DS, Wang JT, Austin PC, Alter DA, Ko DT. Effectiveness of public report cards for improving the quality of cardiac care: the EFFECT study: a randomized trial. *JAMA*. 2009 Dec 2;302(21):2330-7.

24

マネジメントの基本サイクル



25

今後の予定

- 臨床指標を洗練し、増やす。
 - 現時点17指標を公表
 - 患者満足度も測定中(一部の病院)
- 公表方法の改善 (患者・利用者の視点等)
 - よりわかりやすく・利用しやすく・正確に
- 変化(改善)をフォローする。
- 変化の関連因子を探る
 - 職員の意識も検討

26

1) 急性心筋梗塞患者へのアスピリン投与の割合 (五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
相澤	社会福祉法人財団慈恵会 相澤病院	80	98	82%	12
赤穂	赤穂市市民病院	32	39	82%	12
麻生	麻生船塚病院	158	177	89%	12
飯田	医療法人聖山会 飯田病院	5	10	50%	12
(済)東尾	社会福祉法人恩賜財団済生会 東尾病院	36	43	84%	12
(済)今治	社会福祉法人恩賜財団済生会 今治病院	24	26	92%	9
(国)岩国	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	41	52	79%	5
善田市立	善田市立総合病院	77	86	90%	12
(済)宇都宮	社会福祉法人エンパワメントチャリティアイアンス 栃木県済生会宇都宮病院	172	279	62%	12
海老名総合	社会福祉法人エンパワメントチャリティアイアンス 海老名総合病院	102	109	94%	12
王子総合	医療法人王子総合病院	60	65	92%	12
(済)大分	社会福祉法人恩賜財団済生会 大分県済生会日田病院	28	31	90%	6
大垣市民	大垣市民病院	145	164	88%	12
(赤)大坂	大阪赤十字病院	62	69	90%	12
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	38	45	84%	9
亀田総合	医療法人鉄衛会 亀田総合病院	81	97	84%	9
(済)唐津	社会福祉法人恩賜財団済生会 唐津津病院	37	41	90%	12
(済)川口	社会福祉法人恩賜財団済生会 川口総合病院	32	42	76%	12
九州厚生	財団法人厚生年金事業振興会 九州厚生年金病院	104	110	95%	9
京都民連	京都府民連 京都民連中央病院	26	33	79%	9
創設者仁会	財団法人創設者仁会 創設者仁会記念病院	142	146	97%	6
倉敷中央	財団法人倉敷中央病院	97	123	79%	12
(済)栗橋	社会福祉法人恩賜財団済生会 栗橋病院	15	15	100%	6
桑名市民分	桑名市民病院分院	12	15	80%	6
厚生中央	全国工友連盟国民健康保険組合 厚生中央病院	12	12	100%	6
神戸被済	社団法人日本海員被済会 神戸被済会病院	103	114	90%	12
神戸市立	神戸市立医療センター 中央市民病院	21	32	66%	9
公立甲賀	公立甲賀病院	30	43	70%	12
公立能登	公立能登総合病院	76	110	69%	12
佐久総合	佐久総合病院	104	119	87%	12
静岡県立	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	75	83	90%	12
(済)静岡	静岡県立総合病院	15	21	71%	5
市立清水	静岡市立清水病院	85	99	86%	12
社保中央	社会保険中央病院	31	35	89%	10
市立加西	市立加西病院	48	49	98%	8
市立岸和田	市立岸和田市民病院	43	45	96%	6
市立島田	市立島田市民病院	16	25	64%	12
市立長浜	市立長浜病院	28	44	64%	12
市立室蘭	市立室蘭総合病院	20	23	87%	6
神鋼	医療法人社団神鋼会 神鋼病院	84	93	90%	8
新古賀	医療法人天神会 新古賀病院	16	19	84%	9
(済)吹田	医療法人社団 新日鐵川和病院	42	45	93%	12
新鹿回生	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	21	28	75%	9
諏訪中央	鈴鹿回生病院	17	26	65%	12
大同	医療法人宏源会 大同病院	13	18	72%	7
(済)高岡	医療法人恩賜財団済生会 高岡病院	16	26	62%	9
高槻	社会福祉法人聖仁会 高槻病院	30	33	91%	12
宝塚市立	宝塚市立病院	20	21	95%	12
千船	医療法人聖仁会 千船病院	17	21	81%	12
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	9	10	90%	12
徳島市民	徳島市民病院	36	39	92%	11
徳島豊島	財団法人東京郵政健康福祉公社 豊島病院	65	72	90%	11
鳥取県立	鳥取県立中央病院	48	67	72%	12
富山市民	富山市民病院	63	73	86%	12
中頭	特定医療法人敬愛会 中頭病院	63	73	86%	12
名古屋記念	名古屋記念	12	12	100%	6
那覇市立	那覇市立病院	37	37	100%	6
奈良	奈良県立奈良病院	30	33	91%	6
(済)野江	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院	63	66	95%	9
(赤)八戸	八戸赤十字病院	32	42	76%	10
ひたちなか	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	56	60	93%	12
人吉総合	健康保険 人吉総合病院	24	37	65%	9
(済)広島	広島医療生活協同組合 広島共立病院	16	19	84%	12
(済)広島	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	9	11	82%	12
(済)福岡	社会福祉法人恩賜財団済生会 福岡県済生会福岡総合病院	87	100	87%	12
(赤)福岡	総合病院 福岡赤十字病院	73	85	86%	9
袋井市民	袋井市立袋井市民病院	24	24	100%	6
府中	社会医療法人 生基会 府中病院	46	49	94%	11
ベルランド	社会福祉法人 恩賜財団 済生会 松山病院	38	40	95%	6
(済)京都	三菱京都病院	23	26	88%	12
(済)水戸	社会福祉法人 恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	44	53	83%	8
耳原総合	特定医療法人同仁会 耳原総合病院	97	125	78%	12
恵み野	医療法人 北藤会 恵み野病院	39	43	91%	9
KKR横浜	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	35	37	95%	12
(済)横浜	社会福祉法人 恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	81	98	83%	12
A1	社会福祉法人 恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	45	54	83%	6
A2		18	18	100%	3
A3		71	73	97%	12
A4		62	64	97%	12
A5		145	151	96%	6
A6		22	23	96%	6
A7		20	21	95%	6
A8		24	26	92%	12
A9		59	64	92%	12
A10		103	112	92%	12
A11		44	48	92%	12
A12		128	140	91%	12
A13		42	46	91%	12
A14		50	55	91%	9
A15		100	110	91%	9
A16		10	11	91%	9
A17		20	22	91%	12
A18		76	84	90%	12
A19		9	10	90%	12
A20		170	189	90%	12
A21		53	59	90%	12
A22		34	38	89%	6
A23		41	46	89%	12
A24		97	109	89%	12
A25		81	92	88%	12
A26		29	33	88%	7
A27		57	65	88%	12
A28		70	80	88%	12
A29		83	95	87%	12
A30		39	45	87%	12
A31		44	51	86%	11
A32		88	102	86%	12
A33		43	50	86%	12
A34		73	85	86%	9
A35		72	84	86%	12
A36		12	14	86%	6
A37		12	14	86%	9
A38		60	70	86%	12
A39		42	49	86%	5
A40		46	54	85%	12
A41		17	20	85%	12
A42		17	20	85%	5
A43		179	211	85%	12
A44		88	105	84%	12
A45		86	103	83%	12
A46		60	72	83%	12
A47		84	101	83%	12
A48		57	69	83%	12
A49		80	97	82%	12
A50		23	28	82%	9
A51		32	39	82%	12
A52		22	27	81%	12
A53		39	48	81%	12
A54		39	48	81%	12
A55		30	37	81%	6
A56		17	21	81%	9
A57		105	131	81%	12
A58		8	10	80%	6
A59		28	35	80%	9
A60		15	19	79%	5
A61		11	14	79%	3
A62		21	27	78%	8
A63		38	49	78%	9
A64		10	13	77%	9
A65		35	46	76%	9
A66		19	25	76%	9
A67		25	33	76%	12
A68		31	41	76%	6
A69		104	138	75%	12
A70		31	42	74%	9
A71		19	26	73%	6
A72		34	48	71%	12
A73		7	10	70%	12
A74		28	40	70%	12
A75		44	65	68%	9
A76		18	29	62%	12
A77		25	43	58%	5
A78		8	14	57%	9
A79		49	86	57%	12
A80		12	24	50%	10
A81		8	16	50%	12
A82		6	13	46%	12
A83		3	21	14%	9
A84		1	11	9%	12
A85		1	12	8%	12



2) 急性心筋梗塞患者へのβブロッカー処方割合

急性心筋梗塞患者へのβブロッカー投与は生命予後改善に有効です。

注意：禁忌症例(喘息・房室ブロック・本剤にアレルギー歴、など)や過去の副反応(徐脈・血圧低下・心拍出量低下による全身倦怠感・脱力感・心不全症状、糖尿病悪化など)による非投与例を分母から除外すること困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。

特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。
(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定： 処方割合が低い(例えば2~3割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

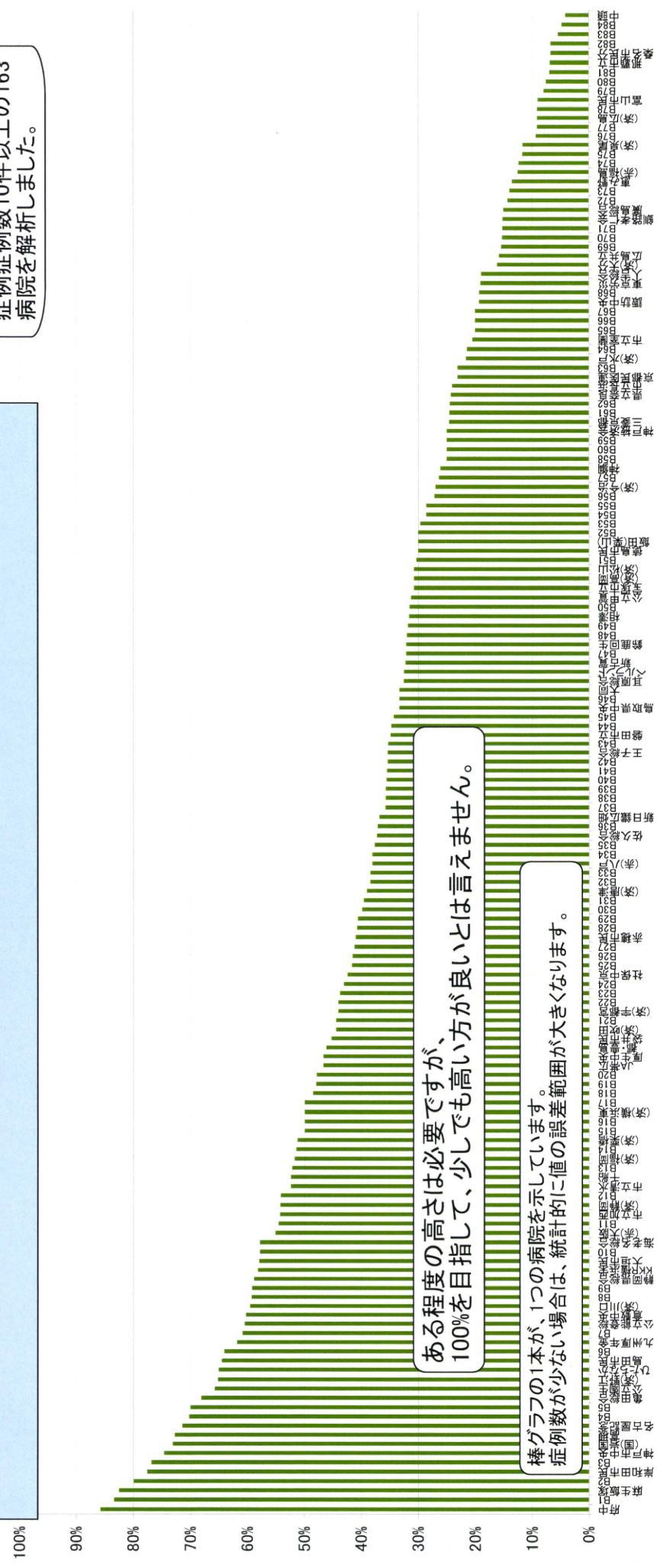
データの定義

分母：DPCコード6桁が050030「急性心筋梗塞」の症例数

分子：上記のうち、入院中に1回でもβブロッカー(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間：2009年4月1日～2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の163病院を解析しました。



2) 急性心筋梗塞患者へのβブロッカー処方の割合 (五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
相澤	社会福祉法人財団慈泉会 相澤病院	31	98	32%	12
赤穂市	赤穂市市民病院	16	39	41%	12
麻生	麻生病院	146	177	82%	12
飯田	飯田(栗山)	3	10	30%	12
飯田	医療法人栗山会 飯田病院	5	43	12%	12
(済)栗原	社会福祉法人影勝財団 大阪府済生会泉尾病院	7	26	27%	9
(済)今治	社会福祉法人影勝財団 済生会今治病院	38	52	73%	5
(国)岩国	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	30	86	35%	12
磐田市	磐田市立総合病院	123	279	44%	12
(済)宇都宮	社会福祉法人影勝財団 済生会宇都宮病院	63	109	58%	12
海老名	社会福祉法人ジャパネットグループ 海老名総合病院	23	65	35%	12
王子	医療法人 王子総合病院	5	31	16%	6
(済)大分	社会福祉法人影勝財団 済生会大分県済生会日田病院	95	164	58%	12
(赤)大阪	大阪赤十字病院	38	69	55%	12
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	21	45	47%	9
(済)唐津	医療法人 藤田総合病院	66	97	68%	12
(済)川口	社会福祉法人影勝財団 済生会唐津病院	16	41	39%	12
九州厚生	財団法人厚生年金基金連合会 九州厚生年金病院	25	42	60%	12
京都市	京都府済生会 京都市民病院	68	110	62%	9
倉敷	京都市済生会 倉敷中央病院	3	13	23%	10
倉敷	医療法人 孝仁会 倉敷孝仁会記念病院	5	33	15%	6
(済)栗橋	財団法人倉敷中央病院	88	146	60%	6
桑名	社会福祉法人影勝財団 済生会桑名中央病院	63	123	51%	12
桑名	桑名市市民病院	1	15	7%	6
厚生	全国土木建築国民健康保険組合 厚生中央病院	7	15	47%	6
神戸	財団法人日本海員経済会 神戸済生会病院	3	12	25%	6
神戸	神戸市立医療センター中央市民病院	85	114	75%	12
公立	公立甲賀病院	10	32	31%	9
公立	公立陶生病院	69	105	66%	12
佐久	公立能登総合病院	26	43	60%	12
静岡	静岡県立総合病院	41	110	37%	12
静岡	静岡県立総合病院	70	119	59%	12
静岡	静岡県立総合病院	45	83	54%	12
市立	市立清水病院	11	21	52%	5
社保	社会保険中央病院	42	99	42%	12
市立	市立加西病院	19	35	54%	10
市立	市立岸和田市民病院	38	49	78%	8
市立	市立島田市民病院	29	45	64%	6
市立	市立長浜病院	6	25	24%	12
市立	市立室蘭総合病院	9	44	20%	12
神鋼	医療法人社団神鋼会 神鋼病院	6	23	26%	6
新古	医療法人天神会 新古病院	30	93	32%	8
新古	医療法人社団 新古畑病院	7	19	37%	12
(済)吹田	社会福祉法人影勝財団 大阪府済生会吹田病院	20	45	44%	12
鈴鹿	鈴鹿市立総合病院	9	28	32%	9
諏訪	医療法人 諏訪中央病院	5	26	19%	12
大同	医療法人 諏訪中央病院	6	18	33%	7
高槻	社会福祉法人影勝財団 済生会高槻病院	8	26	31%	12
高槻	社会福祉法人 孝仁会 高槻病院	24	33	73%	9
宝塚	宝塚市立病院	8	26	31%	12
千船	医療法人 孝仁会 千船病院	11	21	52%	11
東京	独立行政法人 東京労災病院	4	21	19%	12
徳島	徳島市市民病院	3	10	30%	12
豊島	財団法人 東京都保健医療公社 豊島病院	18	39	46%	11
鳥取	鳥取県立中央病院	24	72	33%	11
富山	富山市立富山市民病院	6	67	9%	12

(五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
中頭	特定医療法人 中頭病院	3	73	4%	12
名古屋	名古屋記念病院	15	21	71%	6
那覇	那覇市立病院	3	44	7%	12
奈良	奈良県立奈良病院	8	33	24%	6
(済)野江	社会福祉法人影勝財団 済生会野江病院	43	66	65%	9
(赤)八戸	八戸赤十字病院	16	42	38%	10
ひたちなか	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	39	60	65%	12
人吉	健康保険 人吉総合病院	7	37	19%	9
(済)広島	広島医療生活協同組合 広島共立病院	3	19	16%	12
(済)広島	済生会広島病院	1	11	9%	12
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	15	100	15%	12
(済)福岡	社会福祉法人影勝財団 済生会福岡総合病院	44	85	52%	6
(赤)福島	総合病院 福島赤十字病院	3	24	13%	9
袋井	袋井市立袋井市民病院	43	95	45%	12
府中	社会医療法人 生真会 府中病院	42	49	86%	11
ベルランド	社会医療法人 生真会 ベルランド総合病院	13	40	33%	6
(済)松山	社会福祉法人影勝財団 済生会松山病院	8	26	31%	12
(済)京都	社会福祉法人影勝財団 済生会京都病院	13	53	25%	8
(済)水戸	社会福祉法人影勝財団 済生会水戸総合病院	27	125	22%	12
耳原	特定医療法人 耳原総合病院	14	43	33%	9
KKR	KKR横浜	5	37	14%	12
国家	国家公務員共済組合 横浜井浜病院	57	98	58%	12
(済)横浜	社会福祉法人影勝財団 済生会横浜市民病院	27	54	50%	6
B1		10	12	83%	12
B2		151	189	80%	12
B3		86	112	77%	12
B4		106	151	70%	6
B5		7	10	70%	12
B6		32	50	64%	12
B7		42	69	61%	12
B8		32	54	59%	12
B9		29	49	59%	5
B10		63	109	58%	12
B11		60	110	55%	9
B12		26	48	54%	12
B13		12	23	52%	6
B14		18	35	51%	9
B15		7	14	50%	3
B16		40	80	50%	12
B17		16	33	48%	7
B18		23	46	48%	12
B19		22	46	48%	12
B20		8	18	44%	3
B21		37	84	44%	12
B22		7	16	44%	12
B23		31	72	43%	12
B24		35	84	42%	12
B25		42	101	42%	12
B26		40	97	41%	12
B27		11	27	41%	8
B28		26	64	41%	12
B29		55	138	40%	12
B30		19	48	40%	12
B31		5	13	38%	12
B32		25	65	38%	9
B33					

略称	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
B34	8	21	38%	9
B35	32	85	38%	9
B36	26	70	37%	12
B37	34	95	36%	12
B38	15	42	36%	9
B39	5	14	36%	6
B40	21	59	36%	12
B41	75	211	36%	12
B42	23	65	35%	11
B43	18	51	35%	12
B44	16	46	35%	12
B45	35	102	34%	12
B46	13	39	33%	12
B47	9	28	32%	9
B48	8	25	32%	9
B49	7	22	32%	12
B50	29	92	32%	9
B51	10	33	30%	12
B52	42	140	30%	12
B53	8	27	30%	12
B54	6	21	29%	9
B55	4	14	29%	6
B56	13	48	27%	12
B57	5	19	26%	5
B58	5	20	25%	5
B59	6	24	25%	10
B60	16	64	25%	12
B61	12	49	24%	9
B62	10	41	24%	6
B63	3	13	23%	9
B64	3	14	21%	9
B65	11	55	20%	9
B66	2	10	20%	12
B67	4	20	20%	12
B68	5	26	19%	6
B69	4	26	15%	12
B70	7	46	15%	9
B71	19	125	15%	12
B72	15	105	14%	12
B73	6	43	14%	5
B74	9	73	12%	12
B75	12	103	12%	12
B76	8	86	9%	12
B77	1	11	9%	9
B78	1	11	9%	12
B79	3	38	8%	6
B80	3	40	8%	12
B81	2	29	7%	12
B82	3	45	7%	12
B83	2	37	5%	6
B84	1	21	5%	9

3) 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害薬・アンギオテンジンⅡ受容体拮抗薬(ARB)処方割合

急性心筋梗塞患者において、心血管保護作用のあるACE阻害薬やアンギオテンジンⅡ受容体拮抗薬(ARB)は梗塞再発や重症心不全の減少・生命予後改善に有効です。

注意：禁忌症例(高度の腎不全・妊婦・本剤にアレルギー歴、など)や過去の副反応(空咳・高カリウム血症)による非投与例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。

(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定： 3)と4)とも処方割合が低い(例えば4~5割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかも知れません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

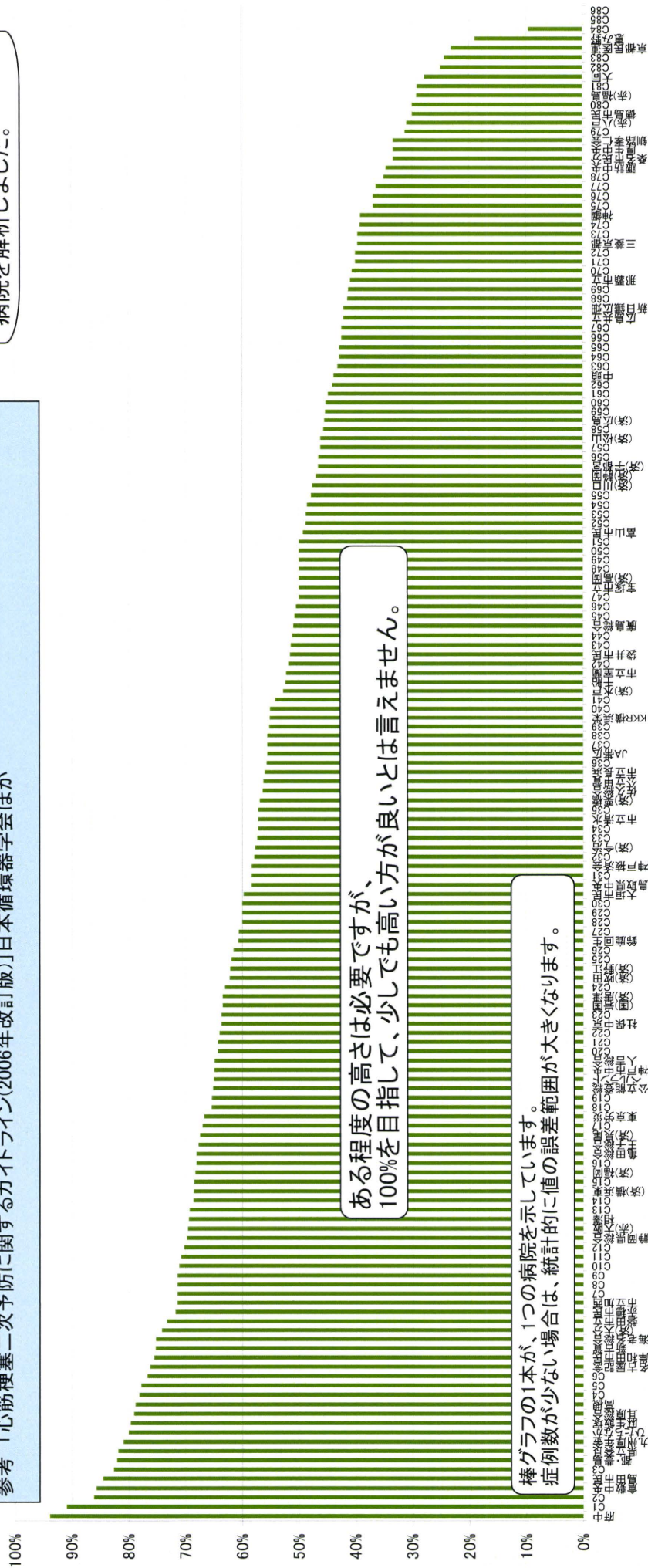
データの定義

分母：DPCコード6桁が050030「急性心筋梗塞」の症例数

分子：上記のうち、入院中に1回でもACE阻害薬・ARB(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間：2009年4月1日～2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の163病院を解析しました。



3) 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害薬・アンギオテンシⅡ受容体拮抗薬(ARB)処方割合 (五十音順)

略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	略称	病院名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
略称	社会医療法人財団慈恵会 相澤病院	28	39	69%	12	略称	那覇市立病院	18	44	41%	12
赤穂市民	赤穂市民病院	68	88	72%	12	奈良県立奈良病院	27	33	82%	6	
麻生飯塚	麻生飯塚病院	141	177	80%	12	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院	30	54	56%	12	
(済)泉屋	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉屋病院	29	43	67%	12	(赤)八戸	八戸赤十字病院	13	42	31%	10
(清)今治	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	15	26	58%	9	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	48	60	80%	12	
(国)岩国	社会福祉法人恩賜財団 岩国医療センター	33	52	63%	5	健康保険 人吉総合病院	24	37	65%	9	
(国)岩国	社会福祉法人恩賜財団 岩国医療センター	33	52	63%	5	広島医療生活協同組合 広島共立病院	8	19	42%	12	
(清)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	130	279	47%	12	(済)広島	済生会広島病院	5	11	45%	12
海老名総合	社会福祉法人エンビメンディアルアイアンス 海老名総合病院	82	109	75%	12	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	51	100	51%	12	
王子総合	医療法人 王子総合病院	44	65	68%	9	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	58	85	68%	9	
(清)大分	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院	23	31	74%	6	社会福祉法人福島赤十字病院	7	24	29%	6	
大垣市民	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院	98	164	60%	12	袋井市立袋井市民病院	49	95	52%	12	
(赤)大阪	大阪赤十字病院	48	69	70%	12	社会医療法人 生長会 府中病院	46	49	94%	11	
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	25	45	56%	9	社会医療法人 生長会 ヘルランド総合病院	26	40	65%	6	
(清)唐津	医療法人 藤兼会 亀田総合病院	66	97	68%	9	社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	12	26	46%	12	
(清)唐津	社会福祉法人恩賜財団 済生会唐津病院	26	41	63%	12	三菱京都病院	21	53	40%	8	
(清)川口	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉 済生会川口総合病院	20	42	48%	12	社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	66	125	53%	12	
九州厚生連	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉 済生会川口総合病院	89	110	81%	9	特定医療法人同仁会 耳原総合病院	34	43	79%	9	
京都民医連	京都保健会 京都民医連中央病院	3	13	23%	10	医療法人 北農会 恵み野病院	7	37	19%	12	
釧路孝仁会	財団法人 倉敷中央病院	11	33	33%	9	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	54	98	55%	12	
(清)栗橋	医療法人 孝仁会 釧路孝仁会記念病院	125	146	86%	6	社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜栄共済病院	37	54	69%	6	
桑名市民分	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	70	123	57%	12	社会福祉法人恩賜財団済生会 横浜栄共済病院	20	22	91%	12	
厚生中央	桑名市民病院分院	5	15	33%	6	C1	C1	130	151	86%	6
神戸市中央	全国工不達国民健康保険組合総合病院 厚生中央病院	5	15	33%	6	C2	C2	38	46	83%	12
公立甲賀	社団法人 日本海鳥岐済生会 神戸市中央病院	7	12	58%	6	C3	C3	50	64	78%	12
公立甲賀	神戸市立医療センター中央市民病院	74	114	65%	12	C4	C4	21	27	78%	8
佐久総合	公立甲賀病院	18	32	56%	9	C5	C5	145	189	77%	12
(清)静岡	公立甲賀総合病院	28	43	65%	12	C6	C6	35	49	71%	5
市立清水	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	62	110	56%	12	C7	C7	20	28	71%	9
市立清水	静岡県立総合病院	83	119	70%	12	C8	C8	15	21	71%	12
市立清水	静岡市立総合病院	39	83	47%	12	C9	C9	46	65	71%	12
市立清水	静岡市立清水病院	12	21	57%	5	C10	C10	46	65	71%	12
市立加西	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 厚生中央病院	63	99	64%	12	C11	C11	59	84	70%	12
市立加西	社団法人 日本海鳥岐済生会 神戸市中央病院	25	35	71%	10	C12	C12	18	26	69%	6
市立加西	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 厚生中央病院	37	49	76%	8	C13	C13	72	105	69%	12
市立島浜	市立岸和田市民病院	38	45	84%	6	C14	C14	63	92	68%	9
市立室蘭	市立島田市民病院	14	25	56%	12	C15	C15	66	97	68%	12
神鋼	市立室蘭総合病院	23	44	52%	12	C16	C16	73	109	67%	12
新古鷹広畑	医療法人 神鋼 神鋼病院	9	23	39%	6	C17	C17	66	101	65%	12
新古鷹広畑	医療法人 神鋼 新古鷹病院	8	19	42%	9	C18	C18	72	112	64%	12
(済)吹田	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	28	45	62%	12	C19	C19	54	84	64%	12
鈴鹿回生	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	17	28	61%	9	C20	C20	32	50	64%	12
諏訪中央	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	9	26	35%	12	C21	C21	70	110	64%	9
大同	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	5	18	28%	7	C22	C22	29	46	63%	12
(済)高岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	13	26	50%	9	C23	C23	13	21	62%	6
高槻	社会医療法人 仁仁会 高槻病院	26	33	79%	12	C24	C24	8	13	62%	9
宝塚市立	宝塚市立病院	13	26	50%	12	C25	C25	20	33	61%	7
宝塚市立	宝塚市立病院	11	21	52%	11	C26	C26	51	85	60%	9
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	14	21	67%	12	C27	C27	6	10	60%	9
徳島市民	徳島市民病院	3	10	30%	12	C28	C28	28	28	100%	12
都・豊島	財団法人 東京都保健医療公社 豊島病院	32	39	82%	11	C29	C29	81	140	58%	12
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	42	72	58%	11	C30	C30	121	211	57%	12
富山市民	富山市民病院	33	67	49%	12	C31	C31	28	49	57%	9
富山市民	富山市民病院	32	73	44%	12	C32	C32	8	14	57%	3
名古屋記念	特定医療法人 敬愛会 中頭病院	16	21	76%	6	C33	C33	8	14	57%	3
名古屋記念	名古屋記念病院	16	21	76%	6	C34	C34	8	14	57%	3
名古屋記念	名古屋記念病院	16	21	76%	6	C35	C35	8	14	57%	3



4) 心不全患者へのβブロッカー処方割合

慢性心不全患者や、急性心不全の病状安定後にあって、βブロッカーは心不全の重症化予防・予後改善に有効です。

注意: 禁忌症例(喘息・房室ブロック・本剤にアレルギー歴、など)や血圧低下などの病態、過去の副反応(心不全の悪化、糖・脂質代謝の悪化 など)による非投与例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。
(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

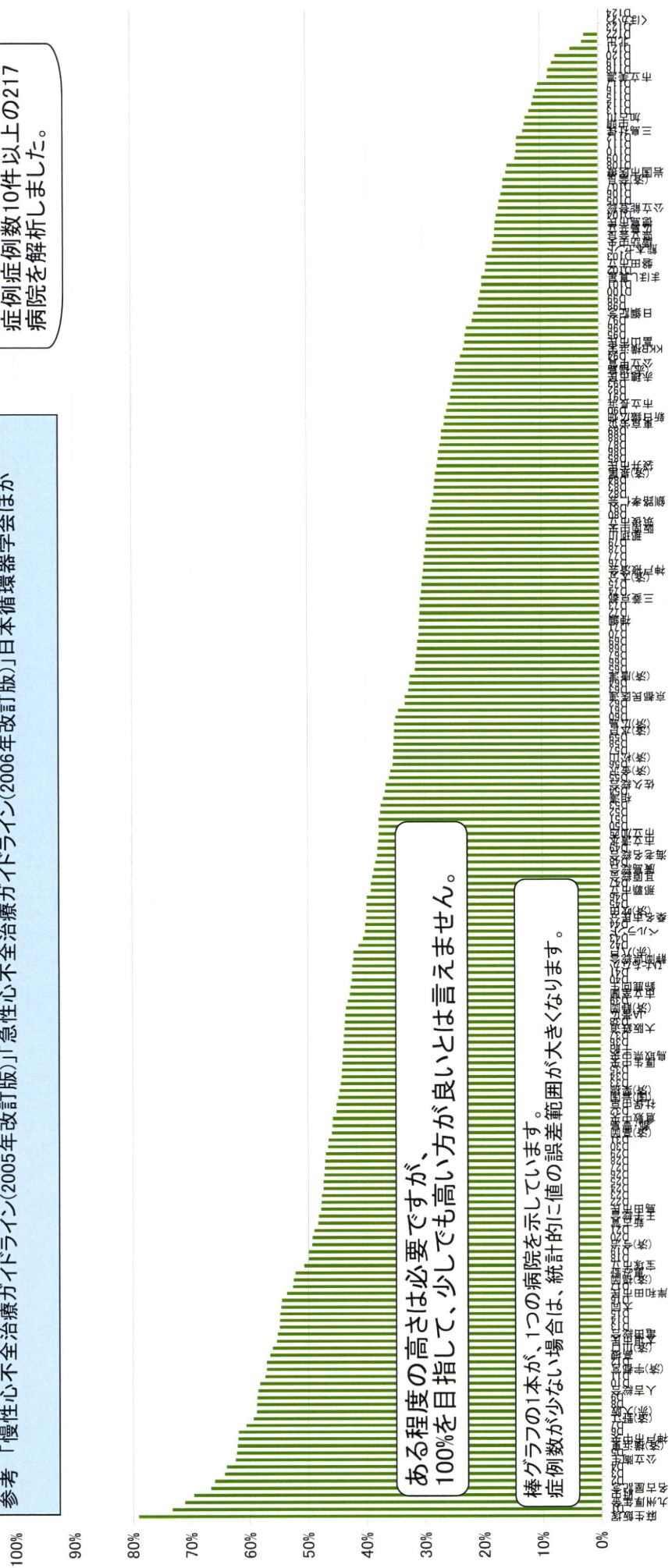
目標設定: 処方割合も低い(例えば3~4割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「慢性心不全治療ガイドライン(2005年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

データの定義

分母: DPCコード6桁が050130「心不全」の症例数
分子: 上記のうち、入院中に1回でもβブロッカー(後発品を含む)を処方された症例数
対象データ期間: 2009年4月1日~2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の217病院を解析しました。



ある程度の高さは必要ですが、100%を目指して、少しでも高い方がいいとは言えません。

棒グラフの1本が、1つの病院を示しています。症例数が少ない場合は、統計的に値の誤差範囲が大きくなります。



(五十音順)

4) 心不全患者へのβブロッカー処方の割合

略称	病名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
D01	社会福祉法人財田医療センター	105	283	37%	12
D02	赤十字社 札幌病院	88	353	25%	12
D03	社会福祉法人 札幌病院	279	353	79%	12
D04	社会福祉法人 札幌病院	28	107	28%	12
D05	社会福祉法人 札幌病院	38	177	22%	12
D06	社会福祉法人 札幌病院	35	35	100%	12
D07	社会福祉法人 札幌病院	3	19	16%	12
D08	社会福祉法人 札幌病院	36	187	19%	12
D09	社会福祉法人 札幌病院	208	364	57%	12
D10	社会福祉法人 札幌病院	54	112	48%	12
D11	社会福祉法人 札幌病院	10	53	19%	12
D12	社会福祉法人 札幌病院	323	298	108%	12
D13	社会福祉法人 札幌病院	123	248	50%	12
D14	社会福祉法人 札幌病院	38	44	86%	12
D15	社会福祉法人 札幌病院	9	16	56%	12
D16	社会福祉法人 札幌病院	16	53	30%	12
D17	社会福祉法人 札幌病院	110	188	58%	12
D18	社会福祉法人 札幌病院	69	112	61%	12
D19	社会福祉法人 札幌病院	26	80	33%	12
D20	社会福祉法人 札幌病院	73	130	56%	12
D21	社会福祉法人 札幌病院	121	170	71%	12
D22	社会福祉法人 札幌病院	10	23	43%	12
D23	社会福祉法人 札幌病院	92	206	45%	12
D24	社会福祉法人 札幌病院	10	34	30%	12
D25	社会福祉法人 札幌病院	16	53	30%	12
D26	社会福祉法人 札幌病院	24	98	24%	12
D27	社会福祉法人 札幌病院	235	376	63%	12
D28	社会福祉法人 札幌病院	24	140	17%	12
D29	社会福祉法人 札幌病院	84	229	37%	12
D30	社会福祉法人 札幌病院	97	223	43%	12
D31	社会福祉法人 札幌病院	22	58	38%	12
D32	社会福祉法人 札幌病院	107	237	45%	12
D33	社会福祉法人 札幌病院	53	140	38%	12
D34	社会福祉法人 札幌病院	65	121	54%	12
D35	社会福祉法人 札幌病院	65	136	48%	12
D36	社会福祉法人 札幌病院	73	283	26%	12
D37	社会福祉法人 札幌病院	48	112	43%	12
D38	社会福祉法人 札幌病院	17	55	31%	12
D39	社会福祉法人 札幌病院	72	149	48%	12
D40	社会福祉法人 札幌病院	14	53	26%	12
D41	社会福祉法人 札幌病院	56	140	40%	12
D42	社会福祉法人 札幌病院	44	103	43%	12
D43	社会福祉法人 札幌病院	17	94	18%	12
D44	社会福祉法人 札幌病院	35	64	55%	12
D45	社会福祉法人 札幌病院	23	50	46%	12
D46	社会福祉法人 札幌病院	33	99	33%	12
D47	社会福祉法人 札幌病院	56	57	98%	12
D48	社会福祉法人 札幌病院	14	48	29%	12
D49	社会福祉法人 札幌病院	48	109	44%	12
D50	社会福祉法人 札幌病院	31	117	26%	12
D51	社会福祉法人 札幌病院	9	51	18%	12
D52	社会福祉法人 札幌病院	33	72	46%	12
D53	社会福祉法人 札幌病院	52	118	44%	12
D54	社会福祉法人 札幌病院	27	205	13%	12
D55	社会福祉法人 札幌病院	31	245	13%	12
D56	社会福祉法人 札幌病院	8	27	29%	12
D57	社会福祉法人 札幌病院	28	42	67%	12
D58	社会福祉法人 札幌病院	102	260	39%	12
D59	社会福祉法人 札幌病院	8	45	18%	12
D60	社会福祉法人 札幌病院	12	56	21%	12
D61	社会福祉法人 札幌病院	85	143	59%	12
D62	社会福祉法人 札幌病院	54	128	42%	12
D63	社会福祉法人 札幌病院	27	88	30%	12

略称	病名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
D64	社会福祉法人 札幌病院	45	106	42%	12
D65	社会福祉法人 札幌病院	31	58	53%	12
D66	社会福祉法人 札幌病院	44	62	71%	12
D67	社会福祉法人 札幌病院	30	125	24%	12
D68	社会福祉法人 札幌病院	67	186	36%	12
D69	社会福祉法人 札幌病院	50	177	28%	12
D70	社会福祉法人 札幌病院	30	57	53%	12
D71	社会福祉法人 札幌病院	20	119	17%	12
D72	社会福祉法人 札幌病院	73	171	43%	12
D73	社会福祉法人 札幌病院	11	31	35%	12
D74	社会福祉法人 札幌病院	65	220	30%	12
D75	社会福祉法人 札幌病院	12	46	26%	12
D76	社会福祉法人 札幌病院	38	108	35%	12
D77	社会福祉法人 札幌病院	34	108	31%	12
D78	社会福祉法人 札幌病院	27	86	31%	12
D79	社会福祉法人 札幌病院	20	64	31%	12
D80	社会福祉法人 札幌病院	19	61	31%	12
D81	社会福祉法人 札幌病院	82	265	31%	12
D82	社会福祉法人 札幌病院	30	97	31%	12
D83	社会福祉法人 札幌病院	4	13	31%	12
D84	社会福祉法人 札幌病院	36	118	31%	12
D85	社会福祉法人 札幌病院	21	69	30%	12
D86	社会福祉法人 札幌病院	21	103	20%	12
D87	社会福祉法人 札幌病院	21	47	45%	12
D88	社会福祉法人 札幌病院	14	47	30%	12
D89	社会福祉法人 札幌病院	9	31	29%	12
D90	社会福祉法人 札幌病院	17	59	29%	12
D91	社会福祉法人 札幌病院	15	53	28%	12
D92	社会福祉法人 札幌病院	24	85	28%	12
D93	社会福祉法人 札幌病院	27	98	28%	12
D94	社会福祉法人 札幌病院	22	80	28%	12
D95	社会福祉法人 札幌病院	9	33	27%	12
D96	社会福祉法人 札幌病院	10	37	27%	12
D97	社会福祉法人 札幌病院	31	115	27%	12
D98	社会福祉法人 札幌病院	16	63	25%	12
D99	社会福祉法人 札幌病院	21	83	25%	12
D100	社会福祉法人 札幌病院	4	16	25%	12
D101	社会福祉法人 札幌病院	54	228	24%	12
D102	社会福祉法人 札幌病院	29	127	23%	12
D103	社会福祉法人 札幌病院	12	53	23%	12
D104	社会福祉法人 札幌病院	8	37	22%	12
D105	社会福祉法人 札幌病院	7	34	21%	12
D106	社会福祉法人 札幌病院	15	73	21%	12
D107	社会福祉法人 札幌病院	71	350	20%	12
D108	社会福祉法人 札幌病院	10	61	16%	12
D109	社会福祉法人 札幌病院	38	243	16%	12
D110	社会福祉法人 札幌病院	3	21	14%	12
D111	社会福祉法人 札幌病院	25	178	14%	12
D112	社会福祉法人 札幌病院	8	57	14%	12
D113	社会福祉法人 札幌病院	31	222	14%	12
D114	社会福祉法人 札幌病院	7	59	12%	12
D115	社会福祉法人 札幌病院	6	53	11%	12
D116	社会福祉法人 札幌病院	3	27	11%	12
D117	社会福祉法人 札幌病院	7	65	11%	12
D118	社会福祉法人 札幌病院	3	29	10%	12
D119	社会福祉法人 札幌病院	3	35	9%	12
D120	社会福祉法人 札幌病院	3	38	8%	12
D121	社会福祉法人 札幌病院	3	41	7%	12
D122	社会福祉法人 札幌病院	1	41	2%	12
D123	社会福祉法人 札幌病院	0	19	0%	12
D124	社会福祉法人 札幌病院	0	22	0%	12

5) 心不全患者へのACE阻害薬・アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)処方割合

慢性心不全患者において、ACE阻害薬やARBは心筋保護作用を介して心不全の予後を改善します。急性心不全患者においても、早期からの投与を支持する報告が集まりつつあります。

注意：禁忌症例(高度の腎不全・妊婦・本剤にアレルギー歴、など)や病態(循環血流量減少や血圧低下)による非投与例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。
(また、今回の計算では外来処方を含んでいません。)

目標設定： 処方割合が低い(例えば4~5割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「慢性心不全治療ガイドライン(2005年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会ほか

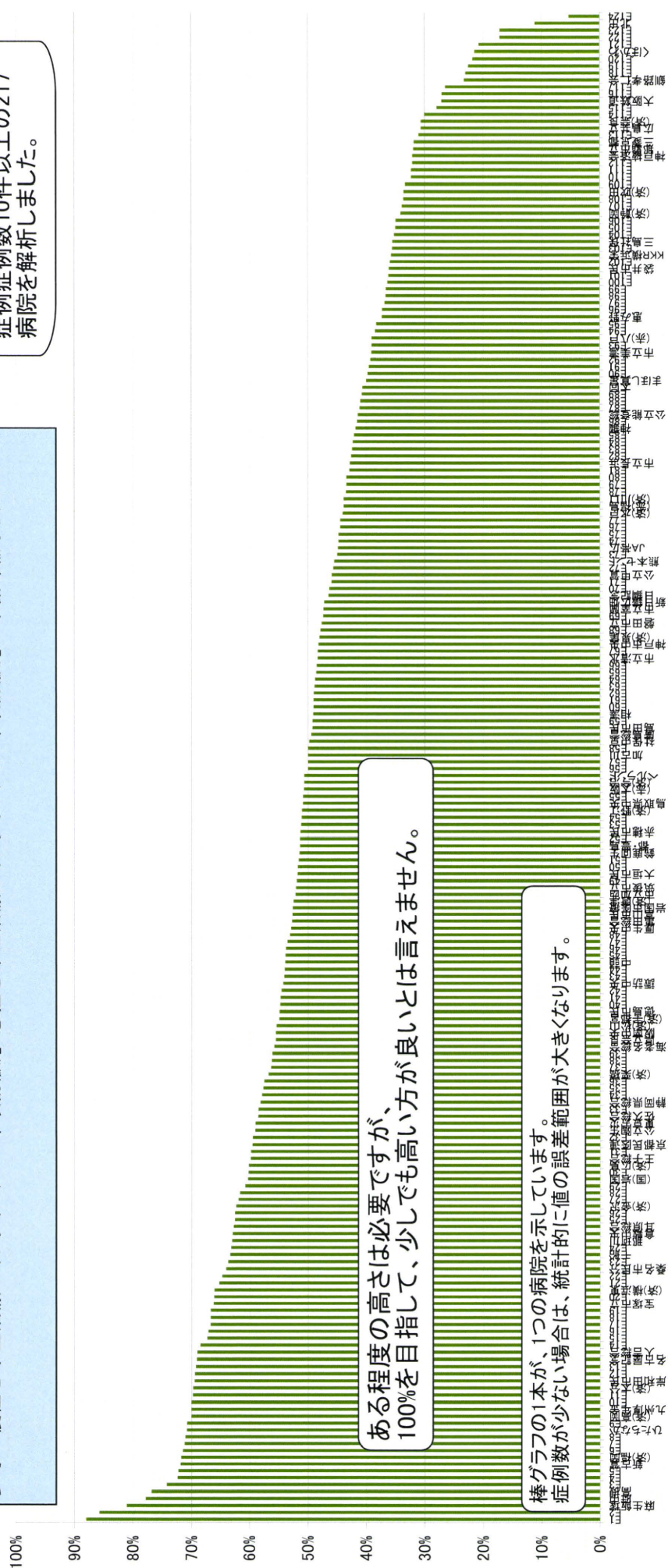
データの定義

分母：DPCコード6桁が050130「心不全」の症例数

分子：上記のうち、入院中に1回でもACE阻害薬・ARB(後発品を含む)を処方された症例数

対象データ期間：2009年4月1日～2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の217病院を解析しました。



(五十音順)

5) 心不全患者へのACE阻害薬・アンジオテンジンⅡ受容体拮抗薬 (ARB) 処方割合

院名	病名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数	院名	病名(五十音順)	投与症例数	全症例数	投与割合	提出月数
社会医療法人財団慈恵会	相澤病院	139	283	49%	12	株式会社田立製作所	ひたちなか総合病院	75	106	71%	12
赤十字社	赤十字病院	182	355	51%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	40	58	69%	9
赤十字社	麻生郡尾尾病院	286	353	81%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	19	62	31%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	48	100	48%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	77	128	60%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	77	100	77%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	92	186	49%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	47	78	60%	5	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	127	177	72%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	10	19	53%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	25	57	44%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	89	187	48%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	43	119	36%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	200	364	55%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	133	171	78%	11
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	111	112	100%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	39	77	51%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	67	23	33%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	65	65	100%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	23	583	52%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	4	10	40%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	302	209	145%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	11	31	35%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	106	58	183%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	28	88	32%	8
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	13	48	27%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	110	250	44%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	39	87	45%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	9	23	39%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	8	16	50%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	111	177	63%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	33	53	62%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	25	67	37%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	105	199	53%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	94	263	36%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	42	80	53%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	68	103	66%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	57	130	44%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	22	24	92%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	4	36	11%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	12	15	80%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	119	170	70%	10	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	23	31	74%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	50	84	60%	10	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	102	141	72%	5
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	6	112	5%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	39	54	72%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	3	14	21%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	50	70	71%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	22	45	49%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	69	97	71%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	103	275	37%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	125	176	71%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	173	206	84%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	29	41	71%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	16	23	70%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	7	10	70%	5
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	18	34	53%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	53	76	70%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	17	53	32%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	68	98	69%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	196	324	60%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	9	13	69%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	45	98	46%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	130	190	68%	5
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	222	376	59%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	41	61	67%	5
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	58	140	41%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	58	87	67%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	134	229	59%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	226	337	67%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	157	270	58%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	32	48	67%	3
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	76	223	34%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	34	51	67%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	28	58	48%	5	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	140	212	66%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	118	237	50%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	45	69	65%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	73	140	52%	10	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	22	34	65%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	84	121	69%	8	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	70	110	64%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	67	136	49%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	137	217	63%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	121	283	43%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	95	152	63%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	53	112	47%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	10	16	63%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	23	55	42%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	13	21	62%	2
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	107	149	72%	8	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	45	73	62%	8
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	25	53	47%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	113	186	61%	6
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	47	140	34%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	62	103	60%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	53	103	51%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	58	97	60%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	94	194	48%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	110	185	59%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	26	64	41%	7	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	69	118	58%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	35	50	70%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	33	57	58%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	92	66	139%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	46	85	54%	7
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	43	65	66%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	49	80	61%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	25	48	52%	7	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	195	346	56%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	69	109	63%	11	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	194	345	56%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	69	117	59%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	55	98	56%	10
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	28	51	55%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	63	115	55%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	72	151	48%	11	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	116	212	55%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	37	118	31%	11	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	6	11	55%	2
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	108	245	44%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	40	74	54%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	132	205	64%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	61	113	54%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	17	27	63%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	63	117	54%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	29	29	100%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	93	173	54%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	83	260	32%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	46	86	53%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	25	45	56%	6	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	121	228	53%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	15	49	31%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	66	127	52%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	26	56	46%	12	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	44	85	52%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	73	143	51%	10	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	16	31	52%	9
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	50	128	39%	9	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	114	222	51%	12
社会福祉法人豊田病院	大原研済生会豊尾尾病院	15	27	56%	5	健康保険法人吉総合病院	ひたちなか総合病院	128	250	51%	12



6) 脳梗塞におけるリハビリ実施症例の割合

脳梗塞患者において、早期のリハビリ介入は機能予後を改善します。

注意：病態(血行動態不安定や、意識障害が強い、など)による非処方例を分母から除外することが困難なため、本指標は必ずしも100%となるべきものではありません。

特に症例が少ない施設で禁忌症例が偶然に多いと処方割合が低くなります。

目標設定： 処方割合が低い(例えば5~6割に満たない)場合、診療内容見直しの余地があるかもしれません。ただし、この指標には、上記のような限界があります。

参考 「脳卒中治療ガイドライン2009」日本脳卒中学会

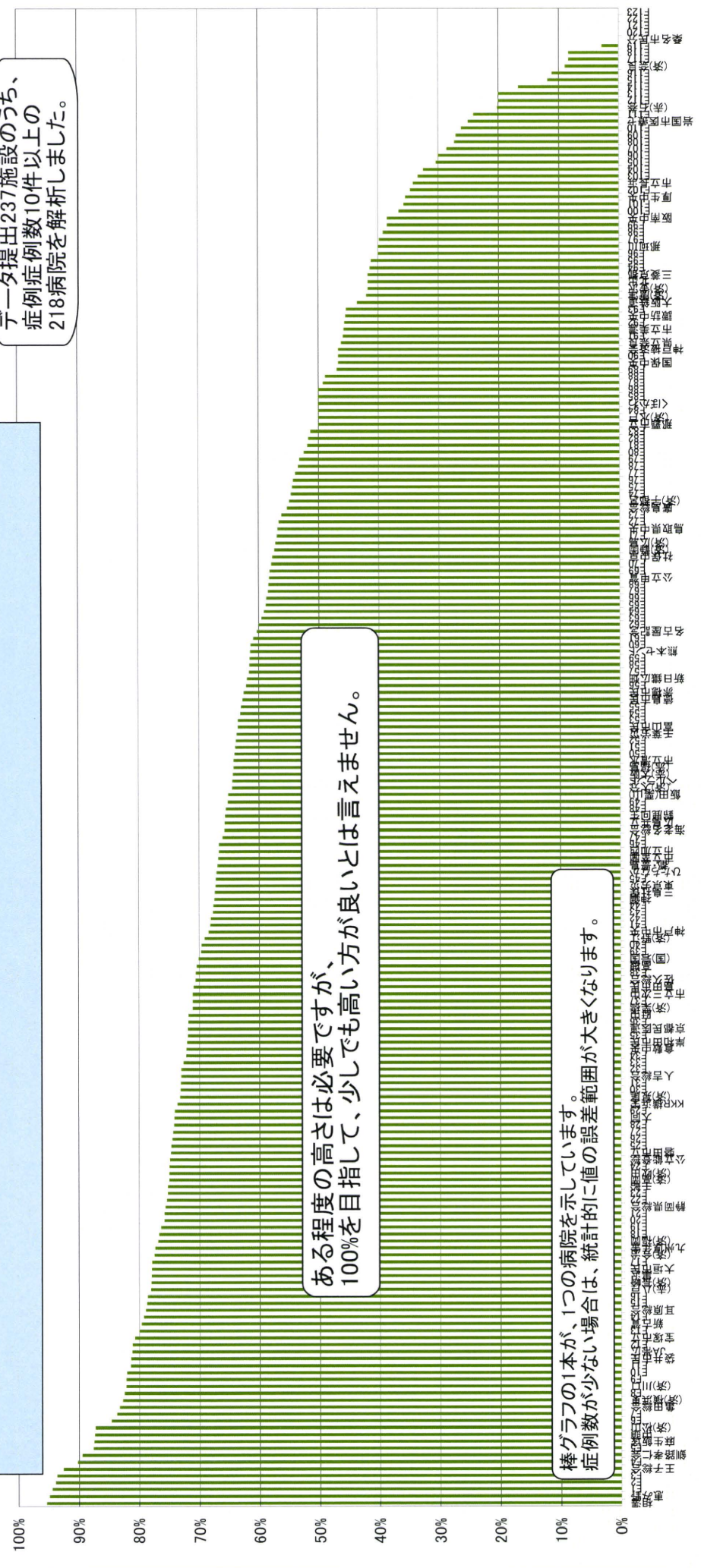
データの定義

分母：DPCコード6桁が010060「脳梗塞」の症例数

分子：上記のうち、入院中に1回でも「脳血管疾患等リハビリテーション料(1)~(3)」を処方された症例数

対象データ期間：2009年4月1日~2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の218病院を解析しました。



6) 脳梗塞におけるリハビリ実施症例の割合 (五十音順)

Table with 10 columns: 略称 (Abbreviation), 病院名(五十音順) (Hospital Name), 実施数 (Number of Cases), 全症例数 (Total Number of Cases), 実施割合 (Implementation Ratio), 提出月数 (Number of Months Reported), 略称 (Abbreviation), 病院名(五十音順) (Hospital Name), 実施数 (Number of Cases), 全症例数 (Total Number of Cases), 実施割合 (Implementation Ratio), 提出月数 (Number of Months Reported).



7) 周術期抗菌薬の平均投与日数 慢性硬膜下血腫

脳外科手術は「清潔手術」と考えられますが、感染による合併症は重篤になりうるため、予防的抗菌薬投与は「必要」とのCDCガイドライン、「2日以内を目安とする」との国内ガイドラインがあります。

平均投与日数が3日間を超えている施設は、術後感染症の合併が多くないか、また標準的な投与日数が決められているか、など検討の余地があります。

参考:「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005)

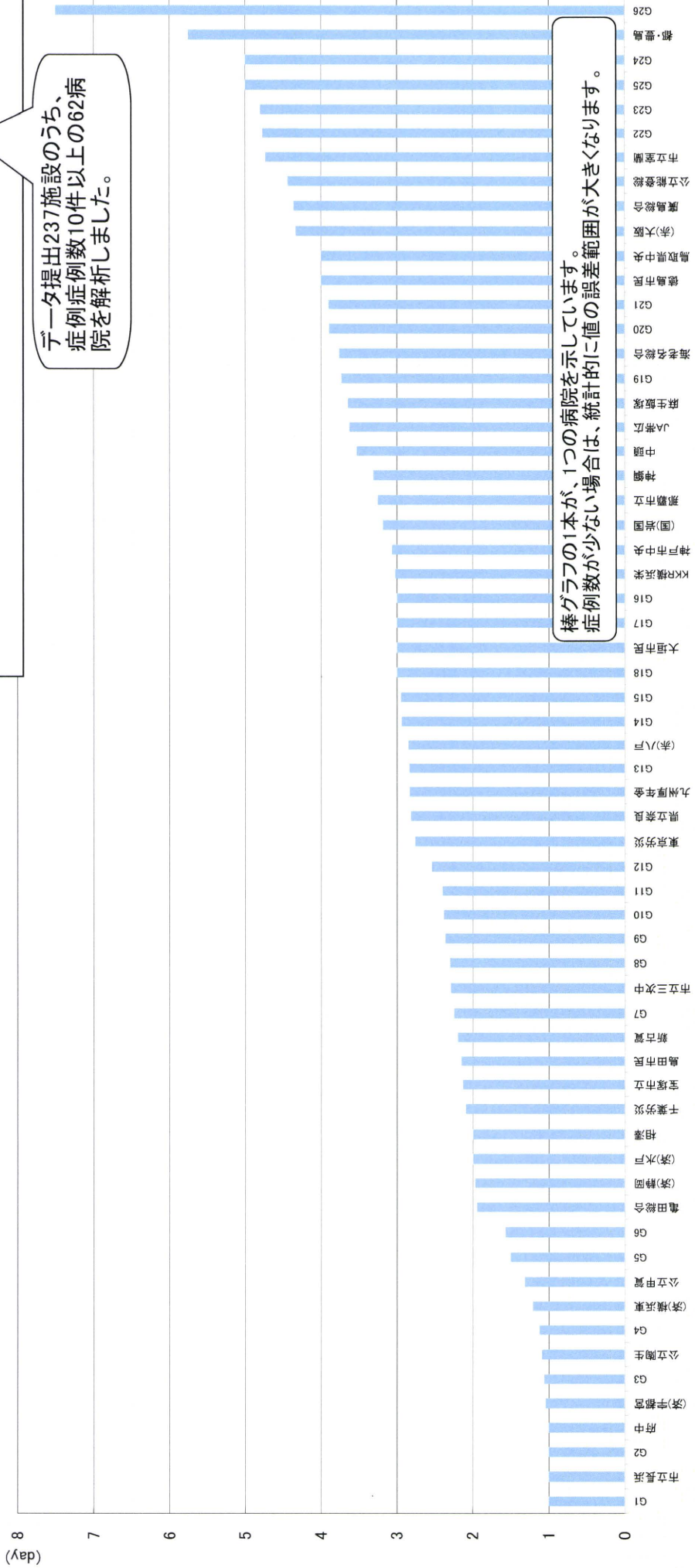
データの定義

分母: 下記のすべてを満たす症例

- (1) DPCコード6桁が010050「非外傷性慢性硬膜下血腫」
- (2) 「慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術 K164-2」あるいは「頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) K1642」を実施
- (3) 同一入院期間中、上記手術実施日以外に手術が行われていない
- (4) 抗菌薬投与日数が連続しており、一時中断・再開のない症例
- (5) 抗菌薬投与エピソードが手術日以前にはじまっていない
- (6) (1)~(5)の症例のうち、投与日数が病院毎に平均+2SDを超えない症例

分子: 上記症例において、抗菌薬が1回でも算された日数の合計

対象データ期間: 2009年4月1日～2010年3月31日の退院症例



データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の62病院を解析しました。

棒グラフの1本が、1つの病院を示しています。症例数が少ない場合は、統計的に値の誤差範囲が大きくなります。

7) 周術期抗腫瘍薬の平均投与日数 慢性硬膜下血腫 (五十音順)

略称	病院名(五十音順)	対象症例数	平均日数	提出月数
G21	社会医療法人財団慈恵会 相澤病院	10	2.0	12
G22	麻生飯塚病院	62	3.6	12
G23	(国)岩国 独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	11	3.2	5
G24	海老名総合 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	24	1.0	12
G25	大垣市民 社会医療法人シヤハンメティカルアライアンス 海老名総合病院	21	3.8	12
G26	(赤)大阪 大垣市民病院	82	3.0	12
	JJA帯広 JA帯広 大垣赤十字病院	24	4.3	12
	九州厚生年金 財団法人厚生年金事業振興会 九州厚生年金病院	16	3.6	9
	神戸市中央 神戸市立医療センター中央市民病院	18	1.9	9
	公立甲賀 公立甲賀病院	12	2.8	9
	公立能登 公立能登病院	30	3.1	12
	(済)静岡 静岡済生会総合病院	22	1.1	12
	市立長浜 市立長浜病院	16	4.4	12
	市立三次 市立三次中央病院	32	2.0	12
	神鋼 医療法人社団神鋼会 神鋼病院	13	2.2	6
	新古賀 宝塚市立病院	17	2.3	9
	千葉労災 独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災病院	15	4.7	12
	東京労災 独立行政法人 東京労災病院	16	3.3	6
	徳島市民 徳島市民病院	10	2.2	8
	都・豊島 財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	15	2.1	12
	鳥取県中央 鳥取県立中央病院	11	2.8	12
	中頭 特定医療法人敬愛会 中頭病院	18	4.0	11
	那覇市立 那覇市立病院	17	3.5	12
	奈良奈良 奈良県奈良市民病院	12	3.3	12
	(赤)八戸 八戸赤十字病院	11	2.8	6
	広島総合 広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	20	2.9	10
	府中 (済)水戸 社会医療法人 生真会 府中病院	25	4.4	12
	KRR横浜 社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	12	1.0	11
	(済)横浜 国家公務員共済組合連合会 横浜共済病院	21	2.0	12
G1	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜支部病院	45	3.0	12
G2		19	1.2	6
G3		12	1.0	12
G4		30	1.0	12
G5		16	1.1	12
G6		57	1.1	12
G7		10	1.5	12
G8		42	1.6	12
G9		24	2.3	12
G10		10	2.3	6
G11		11	2.4	12
G12		13	2.4	12
G13		15	2.4	9
G14		11	2.5	12
G15		93	2.8	12
G16		16	2.9	9
G17		19	2.9	12
G18		12	3.0	3
G19		11	3.0	3
G20		14	3.0	6
		15	3.7	12
		28	3.9	12

略称	対象症例数	平均日数	提出月数
G21	10	3.9	9
G22	13	4.8	12
G23	20	4.8	12
G24	10	5.0	12
G25	31	5.0	9
G26	12	7.5	9

データの定義

分母：下記のすべてを満たす症例

- (1) DPCコード6桁が060020「胃の悪性腫瘍」
- (2) 下記のいずれかを実施
 - 胃切除術 悪性腫瘍手術 K6552
 - 腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術 K655-22
 - 胃局所切除術 K654-2
 - 腹腔鏡下胃局所切除術 K654-3
 - 胃全摘術 悪性腫瘍手術 K6572
 - 噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術 K655-42
 - 腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術 K657-22

- (3) 同一入院期間中、上記手術実施日以外に手術が行われていない
 - (4) 抗菌薬投与日が連続しており、一時中断・再開のない症例
 - (5) 抗菌薬投与エピソードが手術日以前にはじまっていない
 - (6) (1)～(5)の症例のうち、投与日数が病院毎に平均+2SDを超えない症例
- 分子：上記症例において、抗菌薬が1回でも算定された日数の合計
- 対象データ期間：2009年4月1日～2010年3月31日の退院症例

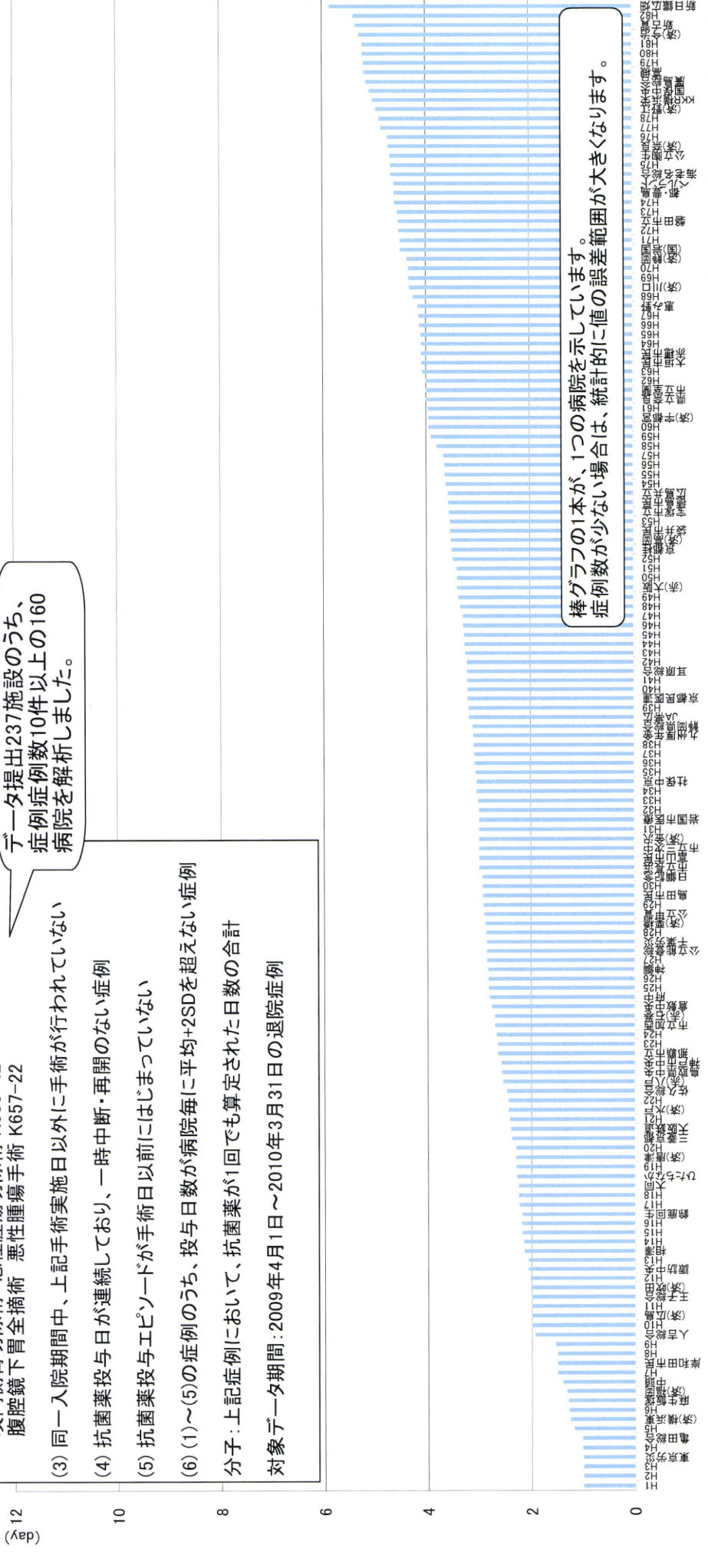
8) 周術期抗菌薬の平均投与日数 胃切除

胃切除術は「準清潔手術」と考えられ、予防的抗菌薬投与は4日以内を目安とする、とのガイドラインがあります。

平均投与日数が5日間を超えている施設は、術後感染症の合併が多くないか、また標準的な投与日数が決められているか、など検討の余地があります。

参考：「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005)

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の160病院を解析しました。



8) 周術期抗菌薬の平均投与日数 胃切除 (五十音順)

略称	病院名(五十音順)	対象症例数	平均日数	提出月数
相澤病院	社会医療法人財団慈恵会 相澤病院	56	2.1	12
赤穂市民病院	赤穂市民病院	20	4.1	12
麻生飯塚病院	麻生飯塚病院	62	1.3	12
(赤)石巻	石巻赤十字病院	47	2.7	12
(清)今治	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	21	5.3	9
(国)岩国	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	16	4.5	5
岩国市医療センター	岩国市医療センター一医師会病院	21	3.0	12
磐田市立総合病院	磐田市立総合病院	47	4.5	12
(清)宇都宮	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	93	4.0	12
海老名総合病院	社会医療法人エンビメンツアルアイアンス 海老名総合病院	49	4.7	12
王子総合病院	医療法人 王子総合病院	36	2.0	9
大垣市民病院	大垣市民病院	143	4.1	12
(赤)大坂	大阪赤十字病院	122	3.4	12
大阪鉄道病院	大阪鉄道病院	25	2.4	6
JA帯広	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	37	3.2	9
(清)金沢	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 石川県済生会金沢病院	17	3.0	12
亀田総合病院	医療法人 慈恵会 亀田総合病院	58	1.0	9
(清)唐津	社会福祉法人恩賜財団 済生会唐津病院	30	2.3	12
(清)川口	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県川口総合病院	50	4.3	12
九州厚年金	財団法人厚生年金事業連合会 九州厚生年金病院	54	3.1	9
京都桂	京都医療会 京都民医連中央病院	52	3.5	12
京都市民医連	財団法人倉敷中央病院	14	3.2	10
倉敷中央	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	63	2.8	6
神戸市中央	神戸市立医療センター一中央市民病院	33	2.9	12
(清)栗橋	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	74	2.6	12
公立甲賀	公立甲賀病院	11	2.9	9
公立陶生	公立陶生病院	49	4.7	12
公立能登総合	公立能登総合病院	28	2.9	12
国保中央	国保中央病院	11	5.1	7
佐久総合	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	89	2.5	12
静岡総合	静岡県立総合病院	120	3.1	12
静岡同	静岡同済生会総合病院	27	4.4	12
市立加西	市立加西病院	41	3.0	12
岸和田市民	市立岸和田市民病院	10	2.7	10
島田市民	市立島田市民病院	24	1.5	8
市立長浜	市立長浜病院	14	2.9	6
市立三次中	市立三次中央病院	31	3.0	12
市立室蘭	市立室蘭総合病院	17	3.0	9
神岡	医療法人 神岡会 神岡病院	18	2.8	6
新古賀	医療法人 天神会 新古賀病院	17	5.4	8
(清)吹田	医療法人 社団 新日鐵吹田病院	29	5.9	9
新日鐵吹田	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院	62	2.0	12
鈴鹿回生	鈴鹿回生病院	16	2.2	9
諏訪中央	組合立 諏訪中央病院	30	2.1	12
大同	医療法人 弘潤会 大同病院	12	2.3	7
(清)高岡	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 富山県済生会高岡病院	17	3.5	9
高岡	社会医療法人 聖仁会 高岡病院	21	5.2	12
宝塚市立	宝塚市立病院	25	3.6	12
千葉労災	独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災病院	42	2.9	12
東京労災	独立行政法人 東京労災病院	17	1.0	12
徳島市民	徳島市民病院	38	3.6	12
都・豊島	財団法人 東京都保健医療公社 豊島病院	36	4.6	11
鳥取県中央	鳥取県立中央病院	44	2.6	11
富山市民	富山市民立富山市民病院	40	3.0	12
中頭	特定医療法人 敬愛会 中頭病院	35	1.4	12

略称	病院名(五十音順)	対象症例数	平均日数	提出月数
H36	那覇市立病院	20	2.7	12
H37	奈良県立奈良病院	22	4.0	5
H38	社会福祉法人恩賜財団 済生会奈良病院	15	4.7	12
H39	社会医療法人 恩賜財団 日鋼記念病院	16	2.9	12
H40	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院	25	5.0	9
H41	八戸赤十字病院	22	2.5	10
H42	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	35	2.3	12
H43	健康保険 吉総合病院	15	1.9	9
H44	広島医療生活協同組合 広島共立病院	12	3.6	12
H45	済生会広島病院	12	2.0	12
H46	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	39	5.2	12
H47	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	62	1.3	9
H48	袋井市立袋井市民病院	13	3.5	12
H49	社会医療法人 生長会 府中病院	26	2.8	11
H50	社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院	31	4.6	6
H51	三菱京都病院	24	2.4	8
H52	社会福祉法人恩賜財団済生会 水戸済生会総合病院	34	2.4	12
H53	特定医療法人 同仁会 耳原総合病院	18	3.2	9
H54	医療法人 北農会 恵み野病院	19	4.2	12
H55	国家公務員共済組合連合会 横浜共済病院	38	5.0	12
H56	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜共済病院	36	1.3	6
H57	H1	16	1.0	12
H58	H2	21	1.0	12
H59	H3	51	1.0	9
H60	H4	75	1.0	12
H61	H5	66	1.2	12
H62	H6	25	1.3	12
H63	H7	10	1.5	10
H64	H8	14	1.5	6
H65	H9	13	1.5	8
H66	H10	13	2.0	12
H67	H11	12	2.0	6
H68	H12	67	2.0	12
H69	H13	30	2.1	12
H70	H14	110	2.2	12
H71	H15	28	2.2	5
H72	H16	16	2.2	9
H73	H17	127	2.2	12
H74	H18	16	2.3	6
H75	H19	17	2.3	12
H76	H20	40	2.3	9
H77	H21	24	2.4	12
H78	H22	70	2.4	12
H79	H23	43	2.7	12
H80	H24	24	2.7	9
H81	H25	17	2.8	9
H82	H26	46	2.8	9
H83	H27	27	2.9	12
H84	H28	15	2.9	6
H85	H29	12	2.9	5
H86	H30	30	2.9	12
H87	H31	11	3.0	9
H88	H32	14	3.0	6
H89	H33	42	3.0	9
H90	H34	22	3.0	12
H91	H35	15	3.1	9



9) 週術期抗菌薬の平均投与日数 胆嚢摘出

胆嚢摘出は感染の有無により「準清潔手術」「感染手術」両方の可能性があります。前者の予防的抗菌薬投与は2日以内を目安とのガイドラインがあり、後者の場合はそれよりも長い投与を要します。

一般に腹腔鏡下胆嚢摘出術では感染の合併は低いものと考えられますが、DPCによる両者の正確な区別は難しく、プロセスの適否を論じることは困難です。

参考：「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005)

データの定義

分母： 下記のすべてを満たす症例

- (1) DPCコード6桁が下記のいずれか
胆嚢疾患(胆嚢結石など)060330
胆嚢水腫、胆嚢炎等060335
胆管(肝内外)結石、胆管炎060340
- (2) 「腹腔鏡下胆嚢摘出術 K672-2」を実施
- (3) 同一入院期間中、上記手術実施日以外に手術が行われていない
- (4) 抗菌薬投与日が連続しており、一時中断・再開のない症例
- (5) 抗菌薬投与エピソードが手術日以前にはじまっていない
- (6) (1)~(5)の症例のうち、投与日数が病院毎に平均+2SDを超えない症例

分子：上記症例において、抗菌薬が1回でも算定された日数の合計

対象データ期間：2009年4月1日～2010年3月31日の退院症例

データ提出237施設のうち、症例症例数10件以上の181病院を解析しました。

